

# DISCLOSURE 2009

茨城銀行の現況 2009 中間期

本冊子については、平成 22 年 1 月 4 日現在の諸資料に基づき作成しております。



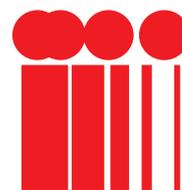
## CONTENTS

ごあいさつ	1
平成21年度中間決算について	2
関東つくば銀行との合併について	4
トピックス	6
役員・組織図	8
財務・資料編	9
連結情報	10
単体情報	20
自己資本の充実の状況	36
ネットワーク	44
銀行法施行規則に基づく開示項目	47

## 当行の概要

(平成21年9月30日現在)

名 称	株式会社 茨城銀行 THE IBARAKI BANK,LTD.
創 業	大正 10 年 6 月 9 日
設 立	大正 10 年 11 月 1 日
本店所在地	〒310-0021 茨城県水戸市南町 1-3-1 TEL.029(231)3171(代)
資 本 金	155 億円
総資産残高	7,728 億円
預金残高	7,343 億円
店 舗 数	62 店舗
ATM台数	200 台(うち I-NET60 台)
従 業 員 数	937 人(嘱託、臨時雇員、出向者を除いております)
U R L	<a href="http://www.ibagin.co.jp/">http://www.ibagin.co.jp/</a>



### シンボルマークの開発意図

このマークは茨城銀行の頭文字 i とひとの姿をモチーフとして開発されました。地域社会に対し、活発にコミュニケーションを行うことによって地縁を深め、またお客さまと行員のふれあいを大切にするによって人縁を強めていくといった茨城銀行の積極的な地域密着の姿勢、そして未来に躍進していく姿を表現しています。

# ごあいさつ

---



皆さまには、平素より茨城銀行グループをお引き立ていただき誠にありがとうございます。

このたび、茨城銀行をより一層ご理解いただくためにディスクロージャー誌「茨城銀行の現況 2009 中間期」を作成いたしました。本誌におきましては、平成 21 年度中間期の業績を中心に、営業活動の現況や地域貢献活動などについて詳しく説明しております。ご参考にしていただければ幸いです。

当行は、平成 22 年 3 月 1 日に株式会社関東つくば銀行と合併し、新たに新銀行「筑波銀行」を創設することを予定しております。今後は、株式会社関東つくば銀行との合併により、重複する機能の集約化を図りコストメリットを実現し、また、人材の融合により組織力を強固なものとし、経営基盤の強化を図ってまいります。そして、地元の中小企業と個人のお客さまへ、両行の英知を結集し、最高の金融サービスを提供し、地域のお客さまとともに成長し、「茨城県になくてはならない銀行」となることを目指し、両行の役職員が一致団結して邁進してまいります。何とぞ、これまで同様、格別のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

取締役頭取 **溝田 泰夫**  
平成 22 年 1 月

# 平成21年度中間決算について

## 資産・負債の状況

### ■ 預金残高



個人預金が、定期性預金を中心に前年同期比 24 億円増加したこと、公金預金・法人預金等その他の預金が前年同期比 186 億円増加したことから、預金全体では、前年同期比 210 億円の増加、前年度末比 111 億円の増加となりました。

### ■ 貸出金残高



住宅ローンは、新規住宅着工件数の低下や雇用・所得環境の厳しさから前年同期比 10 億円の減少となりました。中小企業向け貸出金は、全国緊急保証制度に係る融資を積極的に取組んだことから、前年同期比 120 億円の増加となりました。その結果、貸出金残高は、前年同期比 87 億円増加、前年度末比 2 億円の増加となりました。

## 損益の状況

収益の確保に向け貸出金の増強に取組むとともに、手数料収入の増加や有価証券の運用強化にも取り組んでまいりました。今期は、金融市場の回復を受け有価証券運用収益が増加したことや、預金利回りの低下により資金調達コストが減少したことから資金利益が前年同期比 3 億 73 百万円増加しました。また物件費を中心に営業経費を抑制したことから、銀行本業の収益力を示すコア業務純益は前年同期比 7 億 4 百万円増加の 21 億 82 百万円となりました。

また、前年度までに自己査定厳格化と併せて予防的な与信費用を計上したことや、新たな企業倒産等の発生が少なかったこと等により与信関連費用が前年同期比 16 億 11 百万円減少し、4 億 96 百万円に止まったことから、経常利益は前年同期比 15 億 85 百万円増加の 14 億 12 百万円、中間純利益は前年同期比 19 億 70 百万円増加の 14 億 14 百万円となりました。

### ■ コア業務純益

(単位:百万円)

	金額
平成19年9月期	2,170
平成20年9月期	1,477
平成21年9月期	2,182

### ■ 経常利益

(単位:百万円)

	金額
平成19年9月期	187
平成20年9月期	△ 173
平成21年9月期	1,412

### ■ 中間純利益

(単位:百万円)

	金額
平成19年9月期	△ 77
平成20年9月期	△ 555
平成21年9月期	1,414

● **コア業務純益とは?** コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額と国債等債券の売却損益等を除いた利益です。

# 平成21年度中間決算について

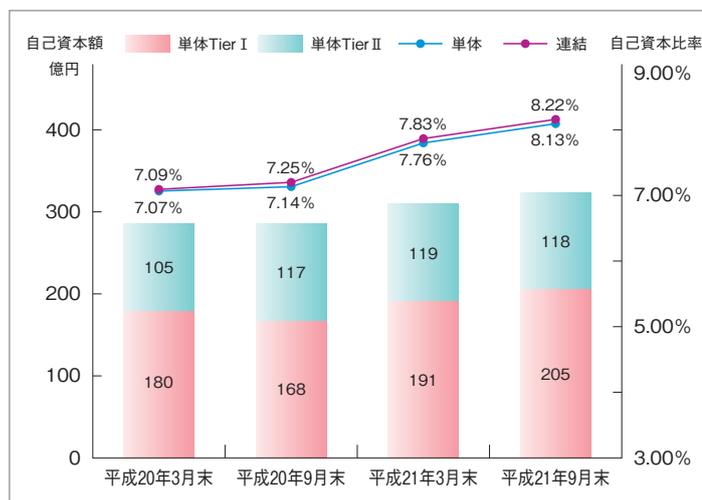
## 自己資本比率の状況(単体・連結)

中間純利益 14 億 14 百万円を計上したことにより、中核的な自己資本の Tier I が同額増加し、単体自己資本比率は前年度末から 0.37 ポイント上昇し、8.13%になりました。国内基準の 4% を 4.13 ポイント上回っております。

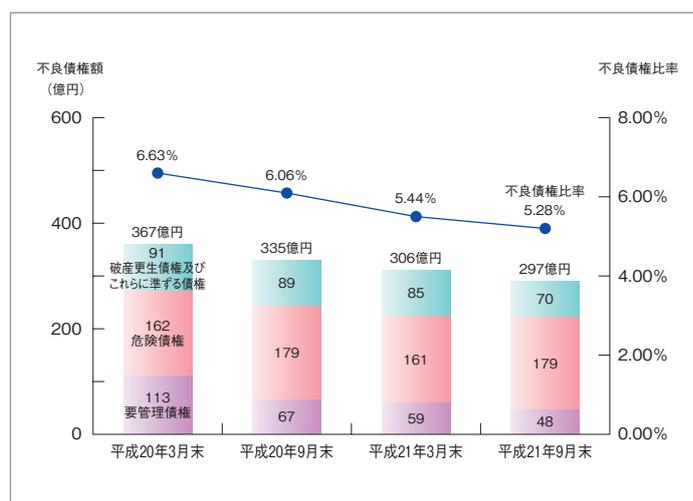
連結ベースにおいても、同様の理由により、連結自己資本比率は前年度末から 0.39 ポイント上昇し、8.22%になりました。

(単位：百万円)

	単体	連結
自己資本額 ①	32,417	32,872
基本的項目	20,594	21,043
リスク・アセット等 ②	398,490	399,453
自己資本比率 ①÷②	8.13%	8.22%



## 不良債権の状況



破産更生債権及びこれらに準ずる債権や、要管理債権の減少等により、不良債権は前年度末比8億円、前年同期比38億円減少しました。

この結果、不良債権比率は前年度末から0.16ポイント低下し、5.28%となりました。

# 関東つくば銀行との合併について

## (経緯)

当行と株式会社関東つくば銀行は、経営環境の変化に対応しうる強固な経営基盤を確立するため、平成21年4月28日に両行との間で「合併基本合意書」を締結し、平成21年8月10日開催の両行の取締役会において株主総会の承認及び監督官庁の認可を前提に、平成22年3月1日を効力発生日として、対等の精神に基づき合併し、新銀行「筑波銀行」を創設することについて承認決議し、「吸収合併契約書」を締結しました。この合併契約書は、平成21年9月18日に開催しました両行の臨時株主総会において承認され、両行は、平成22年3月1日の合併に向けて準備を進めています。



## (合併の目的)

昨年来の世界金融危機後、取り巻く経営環境がめまぐるしく変化し、お客さまの金融ニーズに的確かつスピーディーに対応し、地域経済の発展に貢献していくことが、地域金融機関として強く求められております。

一方、金融機関の経営においては、会計基準の変化への対応や内部統制の強化、リスク管理態勢・コンプライアンス態勢の強化等、コーポレートガバナンスの一段の強化が重要な課題になっております。

これまで、関東つくば銀行は茨城県土浦市に、当行は茨城県水戸市に本店を置き、ともに茨城県全域及び周辺地域を営業エリアとして事業を展開してまいりましたが、両行ともに、地域金融機関が環境の変化に対応し、今後も成長を続け、地域経済の発展に貢献していくためには、地域においてより強固な経営基盤を確立していくことが重要であることを認識しておりました。

経営基盤の強化には、経営基盤が重複する両行の経営統合が最もシナジー効果が期待できる有効な選択肢であり、両行トップによる話し合いを進めた結果、統合のベストパートナーであるという確信を持ったことから、合併のための基本合意及び吸収合併契約書の締結に至ったものであります。関東つくば銀行との合併により、重複する機能の集約化を図りコストメリットを実現し、また、人材の融合により組織力をより強固なものとし、経営基盤の強化を図ってまいります。そして、地元の中小企業と個人のお客さまへ、両行の英知を結集し、最高の金融サービスを提供し、地域のお客さまとともに成長し、「茨城県になくてはならない銀行」となることを目指してまいります。



平成21年9月26日 合同支店長会議



平成21年9月26日 合同支店長会議

# 関東つくば銀行との合併について

## ■筑波銀行の経営ビジョン

筑波銀行は「お客さま」、「株主さま」、「地域社会」、「従業員」という全てのステークホルダーに満足していただき、「茨城県になくてはならない銀行」を目指します。

### 筑波銀行の経営ビジョン

- ①永年築き上げてきた優れたノウハウや人材、特色や強みを持つ営業基盤等を遺憾なく発揮し、質の高いサービスをお客さまに提供し、これまで以上にお客さまから支持される地域金融機関を目指します。
- ②収益力の強化と健全な財務基盤の確立を図ることで、企業価値の拡大を図り、株主価値の向上を図ります。
- ③金融機関としての社会的責任を自覚し、地域経済活性化のために惜しみない貢献を行います。
- ④従業員が持てる能力をいかに発揮し、働きがいがあり、公正に処遇される自由闊達な組織を目指します。

## ■合併の狙い

合併によって、お客さまにより貢献できる新銀行が誕生いたします。

### 合併のメリット

- システム統合、店舗統廃合等により効率化が可能です。
- 県南・県西で強い関東つくば銀行、県央・県北で強い茨城銀行の間でエリア補完ができます。
- 人材の融合により組織力をより強固なものとなります。
- 両行の英知を結集し、最高の金融サービスを提供します。

### 両行の相性の良さ

- 両行とも、地域密着型金融を実践し、茨城県の地場産業を支えてきた長い歴史を持っています。
- 両行の企業風土・企業文化・行風に多くの類似点を持っており、高い親和性があります。

## 筑波銀行として経営統合へ

平成21年4月28日	「関東つくば銀行と茨城銀行の合併に関する基本合意」発表
平成21年8月10日	吸収合併契約書締結
平成21年9月17・18日	臨時株主総会（両行）、種類株主総会（関東つくば銀行）において合併契約書が承認
平成22年3月1日	株式会社茨城銀行と株式会社関東つくば銀行が合併し、新銀行「株式会社筑波銀行」が誕生
平成22年5月4日(祝)	システム統合予定

## ■筑波銀行のシンボルマーク及び和文ロゴ

「筑波山」は関東を代表する名峰で、古く万葉の時代には「富士山」とも比肩されました。また、「筑波（つくば）」の名前は約300に及ぶ研究機関・企業が集積する研究学園都市の地名としても広く知られています。

こうした歴史と伝統があり、さらに新しさも兼ね備えた「筑波」を新銀行の名称としました。



# 筑波銀行

5つのシルエットは茨城の5つの地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）と地域に暮らす人びとを表し、筑波銀行が、茨城県を中心とした地域のお客さま一人ひとりに満足していただける質の高い金融サービスを提供していくことを約束しています。  
シンボルマークで使用している色のブルーは空や海、湖を、グリーンは木や森といった茨城の豊かな自然をイメージしています。そして、筑波山の頂のように2つの頂上を併せ持ち、グリーンだけを結ぶと「TSUKUBA」の「T」の文字となり、筑波銀行の目指す安定感と行員の躍動感を感じさせるデザインにもなっております。

# トピックス

## 地域貢献活動

### 各種相談会の実施

年金に関する様々なご質問に、社会保険労務士がわかりやすくお答えする「年金相談会」や、休日にゆっくり相談できる「休日お客さま相談会」を開催しております。平成21年度上期は、以下のような開催状況でした。

相談会	開催回数	相談人数
年金相談会	33回	318名
休日お客さま相談会	189回	480名

### 特別養護老人ホーム訪問

新入行員研修の一環として昭和53年より特別養護老人ホーム「西山苑」(常陸太田市)で奉仕活動を行っております。平成21年4月には56名の新入行員が参加し、清掃活動、介護体験等を行いました。当行では、お年寄りとのふれあいを通して、やさしい心、人をいたわる心をもった人材の育成をめざしております。



### 地域行事への参加

地域の行事に積極的に参加しております。平成21年度上期は「水戸黄門まつり」などの行事への参加協力を通じて地域の皆さまとの交流を深めております。



### 私募債の受託

多様化する企業の資金ニーズにお応えするため、平成21年6月19日に「銀行保証付私募債」を、平成21年7月17日および平成21年8月20日に「信用保証付私募債」および「銀行保証付私募債」を受託いたしました。今後も両私募債の取扱いを通じて、地元企業の発展に貢献してまいります。

## 主な出来事

### ロゼオ水戸ショッピングセンターへの店舗外ATM出張所設置

平成21年4月2日、お客さまの利便性の向上を図るため、「ロゼオ水戸ショッピングセンター」に店舗外ATM出張所を設置いたしました。

### 関東つくば銀行およびあおぞら銀行との戦略的業務提携に関する基本合意について

平成21年8月20日、相互補完の観点から、株式会社関東つくば銀行および株式会社あおぞら銀行との間において、各行の強みを最大限に発揮し、競争力・収益力の強化を通じた顧客基盤の拡充を実現するために、戦略的業務提携を行うことについて基本合意いたしました。

### 関東つくば銀行との合併に向けた店舗名称および店番号・口座番号の変更

平成22年3月1日の株式会社関東つくば銀行との合併に向けた準備作業の一環として、平成21年10月19日に19カ店の店舗名称を、平成21年12月14日に3カ店の店番号・口座番号を変更いたしました。

事務手続に関するお問い合わせ先

フリーダイヤル：0120-227-035

受付時間：午前9時～午後5時(土日祝日を除く)

#### 店舗名称変更対象店 (変更日：平成21年10月19日)

店番	変更前店舗名称	店番	変更後店舗名称	(フリガナ)
121	日立支店	121	日立中央支店	ヒタチチュウオウ
122	多賀支店	122	多賀駅前支店	タガエキマエ
123	大みか支店	123	大みか駅前支店	オオミカエキマエ
124	ひたちなか支店	124	勝田東支店	カツタヒガシ
141	土浦支店	141	土浦駅前支店	ツチウラエキマエ
142	荒川沖支店	142	荒川本郷支店	アラカワホンゴウ
143	研究学園都市支店	143	松代支店	マツシロ
145	伊奈支店	145	伊奈板橋支店	イナイタバシ
151	石岡支店	151	石岡駅前支店	イシオカエキマエ
154	取手支店	154	西取手支店	ニシトリデ
155	牛久支店	155	牛久中央支店	ウシクチュウオウ
156	守谷支店	156	守谷けやき台支店	モリヤケヤキダイ
159	美浦支店	159	美浦南支店	ミホミナミ
163	鹿島支店	163	鹿嶋南支店	カシマミナミ
165	神栖支店	165	神栖東支店	カミスヒガシ
174	総和支店	174	総和南支店	ソウワミナミ
177	岩井支店	177	岩井西支店	イワイニシ
178	境支店	178	境東支店	サカイヒガシ
312	小山支店	312	小山東支店	オヤマヒガシ

#### 店番号・口座番号変更対象店 (変更日：平成21年12月14日)

支店名	変更前店番号	変更後店番号
銚子支店	201	181
旭支店	202	182
北柏支店	212	184

# トピックス

## 「いばぎんビジネス交流会」の開催

地域経済の活性化、お客さまのビジネスチャンス拡大のため、平成21年11月10日に交流会を開催いたしました。交流会は今年で4回目となり、第1部の「プレゼンテーション」では、参加企業7社による“自社の製品・技術等の説明”および“仕入先・商品企画・共同開発の協力先募集”等が行われ、第2部の「商談会・交流会」では、参加企業92社160名の方々により110件の商談が行われました。今後も地域経済活性化に向けた取り組みに一層努力してまいります。



## 「中小企業者等の金融円滑化に関する休日相談窓口」の設置

中小企業並びに個人事業主の皆さまや個人住宅資金をご利用の皆さまの年末の資金繰り・貸付条件の変更など、『中小企業者等金融円滑化法』に基づく各種ご相談にお応えるため、平成21年12月12日から平成21年12月27日までの各土・日曜日の6日間、「中小企業者等の金融円滑化に関する休日相談窓口」を県内のローンセンター3カ所に設置いたしました。

## 新商品・新サービス

### 「普銀転換20周年記念キャンペーン」の実施

平成21年4月1日から平成21年5月29日まで、「普銀転換20周年記念キャンペーン」として「懸賞金付金利上乗せ定期預金」、個人向け無担保ローン「ぴったりフィットローンⅡ型」特別金利適用をそれぞれ取扱いしました。



### 外貨宅配サービスインターネット受付開始

平成21年5月18日より、当行ホームページから24時間365日お申込みいただける外貨宅配サービスのインターネット受付を、三井住友銀行との提携により開始いたしました。

## 懸賞金付定期預金「夢結(ゆめゆい)定期Ⅱ」キャンペーンの実施

平成21年6月1日から平成21年9月30日まで、懸賞金付定期預金「夢結定期Ⅱ」キャンペーンを実施いたしました。



## 「エコカー」新車購入限定オートローンの特別金利の取扱い

「エコカー」購入のお客さまをバックアップするため、平成21年6月1日から平成22年2月26日までの期間限定で、「エコカー」新車購入に限定した特別金利の取扱いを実施しております。



## 「資源国高金利ソブリンファンド」の取扱い開始

平成21年6月22日より、「BBB格相当以上(投資適格)」の格付けを得ている資源国のうち、相対的に金利水準の高い10カ国の現地通貨建てソブリン債に概ね均等配分となるように投資する「資源国高金利ソブリンファンド」の取扱いを開始いたしました。



## 合併記念キャンペーン「合併記念金利上乗せ定期預金」の取扱い開始

株式会社茨城銀行と株式会社関東つくば銀行は、平成22年3月1日の合併を記念し、平成21年11月2日から両行共同の合併記念キャンペーン「合併記念金利上乗せ定期預金」の取扱いを開始いたしました。



# 役員・組織図

## 役員

平成22年1月4日現在

取締役頭取 (代表取締役)	溝田 泰夫	取締役	根本 光男	経営管理部長
取締役副頭取 (代表取締役)	中島 昭義	取締役	渡辺 実	県央ブロック統括長 兼本店営業部長
常務取締役	中澤 民雄	監査役 (常勤)	五島 裕輔	
常務取締役	立原 和則	監査役	友常 信之	
常務取締役	植木 誠	監査役	小野 邦夫	
取締役	豊崎 寛			

## 組織図

平成22年1月4日現在 (本部8部、28グループ)

